

平成 29 年度の事業報告書

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人花山星空ネットワーク

1 事業の成果

・以下の事業を実施し、多数の一般市民に対して天体観測・天体観測教室・天文科学振興のための講演会などおよび刊行物の発行やホームページでの発信を行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対 象者の 範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位：千円)
天体観測	第 67 回花山天体観望会「木星」 晴 45 cm 屈折望遠鏡小望遠鏡で木星を観望した。「木星」についての講演会と初夏の星座教室を行った。	(A) 5 月 3 日 (B) 花山天文台 (C) 21 名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 99 名	293
	第 68 回花山天体観望会「土星」 曇のち晴 45 cm 屈折望遠鏡小望遠鏡で土星を観望した。「木星」についての講演会と夏の星座教室を行った。	(A) 7 月 29 日 (B) 花山天文台 (C) 20 名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 101 名	297
	第 69 回花山天体観望会「星雲と名曲」 曇 琴、尺八の名曲を鑑賞し、45 cm 屈折望遠鏡の見学、「星雲」の講演会を行った。	(A) 9 月 23 日 (B) 花山天文台 (C) 19 名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 81 名	327
	第 70 回花山天体観望会「太陽」 台風のため、中止	(A) 10 月 22 日 (B) (C)	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E)	119
	第 71 回花山天体観望会「太陽」 晴 太陽プロミネンスなどを小望遠鏡で観察し、シーロスタットと分光器で太陽のスペクトルを観察した。また、「太陽」の講演会を行った。	(A) 3 月 25 日 (B) 花山天文台 (C) 22 名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 69 名	282

	花山天文台特別公開（共催） 花山天文台の施設設備公開に協力した。	(A) 10月28日 (B) 花山天文台 (C) 9名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 300名	4
天体観測体験教室	2017年アメリカ日食観測ツアー 晴 アメリカ大陸で8月21日に起きた皆既日食の観測を行い、併せて、ハワイ島のすばる望遠鏡を見学した。	(A) 8月17日～8月25日 (B) 米国セイラム市、ハワイ島 (C) 2名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 48名	1,429
	第8回飛騨天文台自然発見ツアー 曇のち一時雨 飛騨天文台に大人24名を案内し、世界的な観測装置を見学した。	(A) 10月8日～10日 (B) 飛騨天文台他 (C) 7名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 24名	828
天文学振興のための講演会等	第19回講演会 「太陽系外のハビタブル惑星をExoKyotoで探してみよう」 「究極の電波望遠鏡 アルマが見た宇宙」	(A) 6月18日 (B) 京都大学理学研究科 (C) 9名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 106名	107
	法人化10周年記念アメリカ日食観測報告会(第20回講演会) 「2017アメリカから今後の皆既日食へ」など、アメリカ日食観測で得られた成果を報告した。	(A) 11月25日 (B) 京都大学理学研究科 (C) 16名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 79名	206
	2017年アメリカ日食観測第4回勉強会 8月に実施する日食観測ツアーでの観測項目、諸注意を確認した。	(A) 4月22日 (B) 京都大学理学研究科 (C) 4名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 23名	153
	2017年アメリカ日食観測第5回勉強会 8月に実施する日食観測ツアーでの観測項目、諸注意を確認した。	(A) 6月24日 (B) 京都大学理学研究科 (C) 3名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 36名	
	2017年アメリカ日食観測第6回勉強会 8月に実施する日食観測ツアーでの観測項目、諸注意を確認した。	(A) 8月5日 (B) 京都大学理学研究科 (C) 3名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 25名	

<p>2017 年アメリカ日食観測データ第 1 回検討会 アメリカ日食で得られた観測データを整約し、研究の方向を確認した。</p>	<p>(A) 11 月 11 日 (B) 花山天文台 (C) 2 名</p>	<p>(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 14 名</p>	42
<p>2017 年アメリカ日食観測データ第 2 回検討会 観測者が行った研究内容の報告と今後の課題を確認した。</p>	<p>(A) 11 月 19 日 (B) 花山天文台 (C) 2 名</p>	<p>(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 15 名</p>	
<p>2017 年アメリカ日食観測データ第 3 回検討会 観測データの検討を進めた。</p>	<p>(A) 12 月 21 日 (B) 花山天文台 (C) 2 名</p>	<p>(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 7 名</p>	
<p>2017 年アメリカ日食観測データ第 4 回検討会 観測データの検討を行った。</p>	<p>(A) 2 月 4 日 (B) 花山天文台 (C) 1 名</p>	<p>(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 8 名</p>	
<p>2017 年アメリカ日食観測データ第 5 回検討会 観測データから太陽の半径を測定するために月の縁の形状を調べた。</p>	<p>(A) 2 月 22 日 (B) 花山天文台 (C) 1 名</p>	<p>(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 8 名</p>	
<p>2017 年アメリカ日食観測データ第 6 回検討会 各自が行った研究経過を確認した。</p>	<p>(A) 3 月 10 日 (B) 花山天文台 (C) 1 名</p>	<p>(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 7 名</p>	
<p>2017 年アメリカ日食観測データ第 7 回検討会 各自が行った研究経過を確認した。</p>	<p>(A) 3 月 29 日 (B) 花山天文台 (C) 1 名</p>	<p>(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 5 名</p>	
<p>天文台基金 野外コンサート (共催) 天文台が実施した野外コンサートで観望会を行った。</p>	<p>(A) 10 月 7 日 (B) 花山天文台 (C) 10 名</p>	<p>(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 300 名</p>	34
<p>京都千年天文学街道 アストロトーク 天文現象の解説と 4 次元デジタル宇宙シアターの上映を行った。</p>	<p>(A) 7 月 29 日 (B) 京都大学総合博物館 (C) 4 名</p>	<p>(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 42 名</p>	659
	<p>(A) 7 月 29 日 (B) 京都大学総合博物館 (C) 4 名</p>	<p>(D) 一般市民及びこの法人の会員</p>	

		(E) 14名
	(A) 7月29日 (B) 京都大学総合博物館 (C) 4名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 19名
	(A) 7月29日 (B) 京都大学総合博物館 (C) 4名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 44名
暦合戦コース		
沖方丁原作の「天地明察」で描かれた渋川春海の旧跡を訪問した。	(A) 4月1日 (B) 西大路 (C) 2名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 18名
	(A) 6月10日 (B) 西大路 (C) 2名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 8名
	(A) 12月3日 (B) 西大路 (C) 2名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 5名
平安京コース		
平安京の中心地帯を歩きながら、天文学に関連した史跡を見学した。	(A) 4月15日 (B) 二条城～4千本丸太町 (C) 2名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 5名
	(A) 10月1日 (B) 二条城～4千本丸太町 (C) 2名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 5名
明月記コース		
古代の天文現象を解説しながら、それらに関連した歴史的な名所を訪問した。	(A) 5月7日 (B) 今出川通 (C) 2名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 15名
	(A) 10月12日 (B) 二条城～4千本丸太町 (C) 2名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 12名
	(A) 10月15日 (B) 二条城～4千	(D) 一般市民及び

		本丸太町 (C) 2名	この法人 の会員 (E) 5名
信長と天変コース 出町柳から京都御苑界限を歩いて信長に関連する史跡を訪ねた。	(A) 5月27日 (B) 出町柳～京都御苑界限 (C) 2名	(D) 一般 市民及び この法人 の会員 (E) 2名	
京大花山天文台ハイキングコース 山科から花山天文台に徒歩で上がり天文台を見学した。	(A) 6月4日 (B) 花山天文台 (C) 4名	(D) 一般 市民及び この法人 の会員 (E) 17名	
	(A) 11月12日 (B) 花山天文台 (C) 4名	(D) 一般 市民及び この法人 の会員 (E) 11名	
真如堂特別コース 京都大学宇宙物理学の先達を紹介しながら、安倍晴明ゆかりの神社を参拝した。	(A) 6月4日 (B) 京都大学 (C) 1名	(D) 一般 市民及び この法人 の会員 (E) 8名	
梅林寺・円光寺コース 平安から江戸時代にかけて活躍した陰陽師（天文家）土御門家の旧宅跡と菩提寺に残っている江戸期の天体観測機器の一部を見学した。	(A) 8月8日 (B) 梅林寺・円光寺 (C) 2名	(D) 一般 市民及び この法人 の会員 (E) 16名	
大將軍八神社コース 星にまつわる神像が祀られている神社を訪ね、平安時代から鎌倉時代人の天文と宗教について考えた。	(A) 8月8日 (B) 大將軍八神社 (C) 2名	(D) 一般 市民及び この法人 の会員 (E) 13名	
英語コース 大將軍八神社から京都御苑にかけてのコースを外国からの旅行者に紹介した。	(A) 8月8日 (B) 大將軍八神社～京都御苑 (C) 5名	(D) 一般 市民及び この法人 の会員 (E) 21名	
星のソムリエシンポジウム この活動を上記のシンポジウムで紹介した。	(A) 3月4日 (B) 日本城郭研究センター (C) 2名	(D) 一般 市民及び この法人 の会員 (E) 50名	

	第7回京大宇宙落語会 京都大学出身の落語家による宇宙に関連した落語を行った。	(A) 6月4日 (B) 京都大学益川ホール (C) 2名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 150名	0
刊行物やHPによる情報発信提供	HPの更新	(A) 随時 (B) 事務所 (C) 2名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 600名	1,811
	会報「あすとろん」39号発行 各種天文現象の解説、イベント参加報告を行った。	(A) 6月 (B) 事務所 (C) 4名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 600名	
	会報「あすとろん」40号発行 各種天文現象の解説、イベント参加報告を行った。アメリカ日食観測特集である。	(A) 9月 (B) 事務所 (C) 4名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 600名	
	会報「あすとろん」41号発行 各種天文現象の解説、イベント参加報告を行った。	(A) 12月 (B) 事務所 (C) 4名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 600名	
	会報「あすとろん」42号発行 各種天文現象の解説、イベント参加報告を行った。	(A) 3月 (B) 事務所 (C) 4名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 600名	
総会	第10回通常総会・懇親会	(A) 6月18日 (B) 京都大学理学研究科 (C) 6名	(D) この法人の会員 (E) 名(うち書面表決者名)	195

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	事業費の金額 (単位：千円)
実施しなかつた。			

(備考)

1 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。